

背景

○中小・ベンチャー企業の海外展開の加速化

革新的な技術の創造や地域経済と雇用の担い手として我が国の産業競争力を支えてきた中小・ベンチャー企業は、ものづくりの現場で磨き抜かれた優れた技術力を武器に、新興国を中心に海外展開を加速。

○知財マネジメントの重要性

激しいグローバル競争に勝ち抜くためには、優れた技術力だけでは不十分であり、「オープン・クローズ戦略」などに代表される、多様な知財マネジメントを経営戦略に織り込むことが重要。

○海外展開にあたっての知的財産面での課題

知財マネジメントに対する理解が不十分であるため、あるいは、人財・資金・情報等の不足などにより、必要な知財マネジメントが実現できないため、海外展開を図る多くの中小・ベンチャー企業が困難に直面。

支援の方向性

相談窓口のワンストップ化・知財活動の裾野拡大を推進すると共に経営層への啓発を強化して、中小・ベンチャー企業に支援策の存在を認識させ、知財マネジメントを浸透させること、質の高い知財専門家による支援を充実させることが不可欠。また、知的財産権の性質上、プロアクティブかつ先を見越した支援は極めて重要であり、特許・意匠・商標・ノウハウ等を含め、訴訟までを視野に入れた知財マネジメント(総合知財戦略)をビジネスモデル検討段階から構築することが望まれる。

主な論点

人 財

- 経営層及び経営層を支える人財(金融機関、中小企業診断士等)に対する知財啓発
- 質の高い知財専門家によるビジネスモデル検討段階からの総合知財戦略構築支援
- 知財専門家を国内及び海外に派遣し、関係機関と連携しつつチームで支援する新たなスキームの構築

資 金

- 海外知財紛争を見越したトータルの支援・インフラの充実
- 料金減免の拡充、補助金制度の手続きの簡素化など、ユーザーニーズを踏まえた資金的支援の強化

情報及び関係機関の連携

- 窓口をワンストップ化し、海外知財情報を提供すると共に質の高い専門家を派遣
- 相談窓口の敷居を下げ、知財活動の裾野を拡大
- 訴訟を含む海外知財情報の収集・分析・発信の拡充や、知財にまつわる失敗事例集の作成・周知